

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／資産複合
信託期間	2018年6月14日まで（2013年8月29日設定）
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	メキシコのソブリン債券（国債、政府保証債等）をいいます。）およびメキシコの金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
運用方法	メキシコのソブリン債券およびメキシコの金融商品取引所上場株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 ・債券および株式への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	毎年6月14日（休業日の場合は翌営業日とします。）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のいずれが多い額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間、投資態度等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

[満期償還]

メキシコ債券&株式ファンド 2013-08



信託終了日：2018年6月14日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「メキシコ債券&株式ファンド 2013-08」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配)	価 額			受 益 者 利 回 り	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	元 本 残 存 率
		税 込 分 配	み 金 期 騰	騰 落 中 額						
(設定日) 2013年8月29日	円 銭 10,000	円 -	円 銭 -	騰 落 中 率 %	%	%	%	%	%	100.0
1期(2014年6月16日)	11,403	0	1,403	14.0	17.5	22.1	-	75.5	-	11.6
2期(2015年6月15日)	12,026	0	623	5.5	11.3	22.2	-	75.6	-	4.6
3期(2016年6月14日)	8,698	0	△3,328	△27.7	△4.7	21.5	-	76.5	-	3.2
4期(2017年6月14日)	9,722	0	1,024	11.8	△0.7	22.1	-	74.3	-	2.5
(償還時)	(償還価額)									
5期(2018年6月14日)	8,811.89	-	△910.11	△9.4	△2.5	-	-	-	-	1.9

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落	騰 落 率				
(期 首) 2017年6月14日	円 銭 9,722		% -	% 22.1	% -	% 74.3	% -
6 月 末	9,958		2.4	22.2	-	76.5	-
7 月 末	10,080		3.7	22.7	-	75.2	-
8 月 末	10,159		4.5	22.6	-	75.3	-
9 月 末	10,101		3.9	22.0	-	75.0	-
10 月 末	9,539		△1.9	21.5	-	75.2	-
11 月 末	9,761		0.4	21.2	-	76.5	-
12 月 末	9,364		△3.7	21.5	-	77.3	-
2018年1月末	9,556		△1.7	22.0	-	76.8	-
2 月 末	9,327		△4.1	21.2	-	77.7	-
3 月 末	9,532		△2.0	20.1	-	76.9	-
4 月 末	9,613		△1.1	21.0	-	76.8	-
5 月 末	8,970		△7.7	19.5	-	77.2	-
(償還時)	(償還価額)						
2018年6月14日	8,811.89		△9.4	-	-	-	-

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

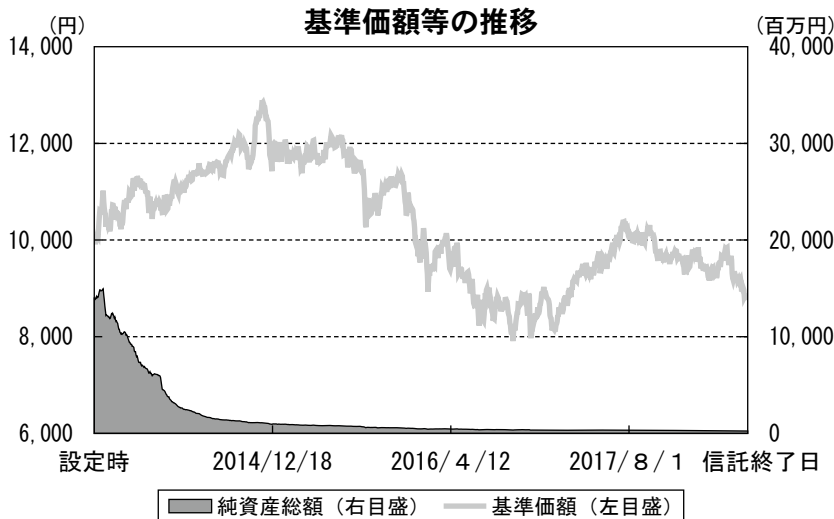
運用経過

設定来の基準価額等の推移について

(第1期～第5期：2013/8/29～2018/6/14)

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ11.9%の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・単体型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・保有する債券からの利息収入の積み上げが、基準価額の上昇要因となりました。 ・保有する株式が値上がりしたことが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・メキシコ・ペソが円に対して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

利回りの推移



・現地日付ベースで記載しております。

(第1期～第5期：2013/8/29～2018/6/14)

◎債券市況

- ・設定時から2013年10月にかけては、米連邦準備理事会（FRB）が量的金融緩和策第3弾（QE3）の縮小見送りを決定したことやメキシコ中央銀行の政策金利の引き下げなどから、利回りは概ね低下しました。
- ・2013年11月から2014年1月にかけては、メキシコ中央銀行が利下げ打ち止めの姿勢を示したことや中国の理財商品のデフォルト懸念などを受けて新興国資産が売られ、利回りは概ね上昇しました。
- ・2014年2月から2014年7月にかけては、格付け会社がメキシコの格付けを引き上げたことやメキシコ中央銀行が市場の予想に反して政策金利引き下げを実施したことなどから利回りは概ね低下しました。
- ・2014年8月から2016年10月にかけては、原油価格の下落による財政悪化懸念やメキシコ中央銀行の複数回にわたる政策金利の引き上げなどから利回りは概ね上昇しました。
- ・2016年11月には、米国大統領選挙で北米自由貿易協定（NAFTA）の再交渉を公約としていたトランプ氏が勝利したことからメキシコ経済への懸念が高まり、利回りが大幅に上昇しました。その後もNAFTA再交渉の難航やメキシコ中央銀行の政策金利の引き上げ、米国の保護主義政策への懸念などから信託終了日にかけて利回りは概ね上昇しました。

株式市況の推移

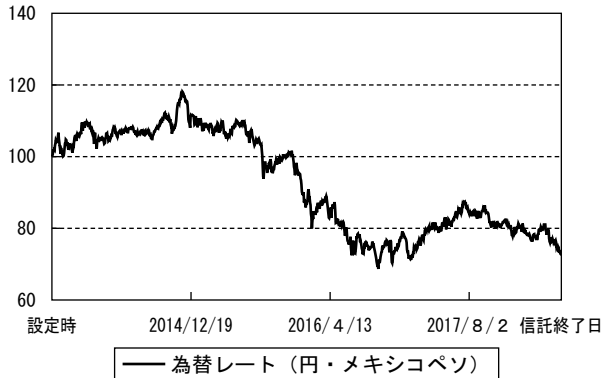


- ・現地日付ベースで記載しております。
- ・S&P/BMV IPCメキシコ指数とは、メキシコ証券取引所上場の代表的な銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。

◎株式市況

- ・設定時から2014年3月にかけては、メキシコ中央銀行の政策金利の引き下げやエネルギー改革法案成立などが上昇要因となる一方で、中国の理財商品のデフォルト懸念などを受け新興国通貨が下落したことや米国の記録的な寒波などが下落要因となり、横ばい圏での推移となりました。
- ・2014年4月から2014年8月にかけては、米国のQE3の縮小開始による新興国経済への懸念が和らいだことや、メキシコ国内の構造改革政策の進展を好感して上昇基調となりました。
- ・2014年9月から2016年1月にかけては、原油価格の急落やメキシコ・ペソの下落、世界的に株価が下落したことなどからメキシコの株価も軟調となりました。
- ・2016年2月から2016年10月にかけては、下落が続いていた原油価格が上昇に転じたことなどが好感され、株価は堅調となりました。
- ・2016年11月には、米国大統領選におけるトランプ氏の勝利によって株価は一時急落したものの、その後トランプ政権の政策執行能力への疑念が高まったことや同大統領がメキシコ・カナダの首脳とNAFTAを停止しないことで合意したことが好感されて堅調となり、2017年8月にかけて株価は上昇しました。
- ・2017年9月から信託終了日にかけては、メキシコで発生した2度の大地震やNAFTA再交渉の難航、トランプ政権の保護主義的な政策への懸念などから軟調となりました。

為替市況の推移 (設定時を100として指数化)



◎為替市況

- ・ 設定時から2014年11月にかけては、FRBがQE3の縮小見送りを決定したことによる新興国への資金回帰観測や日銀による予想外の追加の金融緩和策の発表などからメキシコ・ペソは円に対して上昇しました。
- ・ 2014年12月に原油安が加速すると、産油国であるメキシコの通貨ペソに売りが集中し大幅なメキシコ・ペソ安となりました。2015年12月に石油輸出国機構(OPEC)が価格維持のための原産を見送り、原油価格が一段と下落すると、さらにメキシコ・ペソ安が進みました。
- ・ 2016年9月にトランプ氏の支持率が上昇するとメキシコ・ペソは一段と軟調となり、11月の米大統領選での同氏の勝利や2017年1月のメキシコで事業を展開する企業への批判などから軟調な展開が続きました。
- ・ 2017年2月から2017年7月にかけては、メキシコ中央銀行の度重なる政策金利引き上げやトランプ米大統領の政策への過度な不安感の後退、メキシコ州知事選での与党候補の勝利などからメキシコ・ペソは円に対して上昇しました。
- ・ 2017年8月から信託終了日にかけては、米長期金利が上昇し新興国からの資金流出が進んだことや2018年7月のメキシコ大統領選を巡る不透明感の高まり、NAFTA再交渉の難航などからメキシコ・ペソは円に対して下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

- ・ 信託期間を通じて、メキシコのソブリン債券（国債、政府保証債等をいいます。）およびメキシコの金融商品取引所上場（これに準じるものを含みます。）株式を主要投資対象としました。
- ・ 債券への投資については、メキシコのソブリン債券に投資し、メキシコ・ペソベースでの安定した収益の確保をめざして運用を行いました。
- ・ 株式への投資については、メキシコ・ペソベースでの投資成果がS&P／BMV IPCメキシコ指数に連動することを目標として運用を行いました。
- ・ 外貨建資産については、対円での為替ヘッジは行いませんでした。

＜第1期：設定時～2014年6月16日＞

基準価額は設定時に比べ14.0%の上昇となりました。

- ・ FRBがQE3の縮小見送りを決定したことや、格付け会社がメキシコの格付けを引き上げたことなどからメキシコ・ペソ高／円安が進んだことが基準価額の上昇要因となりました。

＜第2期：2014年6月17日～2015年6月15日＞

基準価額は期首に比べ5.5%の上昇となりました。

- ・ 日銀が市場予想に反して追加の金融緩和策を発表したことなどからメキシコ・ペソ高／円安が進んだことが基準価額の上昇要因となりました。また、保有する債券から利息収入を得られたことも基準価額の上昇要因となりました。

＜第3期：2015年6月16日～2016年6月14日＞

基準価額は期首に比べ27.7%の下落となりました。

- ・ 原油価格の低迷や中国経済の減速懸念の高まりなどから資源国や新興国の通貨が売られ、メキシコ・ペソ安／円高が進行したことが基準価額の下落要因となりました。

＜第4期：2016年6月15日～2017年6月14日＞

基準価額は期首に比べ11.8%の上昇となりました。

- ・ メキシコ中央銀行が通貨防衛やインフレ抑制などの観点から複数回に渡って政策金利を引き上げたことなどからメキシコ・ペソ高／円安が進行したこと、世界的な新興国株式の上昇などを背景にメキシコ株式が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

＜第5期：2017年6月15日～信託終了日＞

償還価額は期首に比べ9.4%の下落となりました。

- ・ 米長期金利の上昇による新興国からの資金流出の加速や、NAFTA再交渉の難航、世界的な貿易摩擦懸念の高まりなどからメキシコ・ペソ安／円高が進行したことが償還価額の下落要因となりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

信託期間中の収益の分配はありません。

償還価額

償還価額は8,811円89銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年6月15日～2018年6月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	100	1.033	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(47)	(0.489)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(47)	(0.489)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(5)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.035	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（ 株 式 ）	(3)	(0.035)	
(c) そ の 他 費 用	62	0.646	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(61)	(0.632)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.011)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	165	1.714	
期中の平均基準価額は、9,663円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年6月15日～2018年6月14日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	メキシコ	百株 71 (-)	千メキシコペソ 379 (△ 5)	百株 3,148	千メキシコペソ 11,973

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

公社債

		買 付 額	売 付 額
外 国	メキシコ	千メキシコペソ 1,935	千メキシコペソ 44,438
	国債証券		

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○株式売買比率

(2017年6月15日～2018年6月14日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	68,318千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	64,037千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.06

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年6月15日～2018年6月14日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替直物取引	百万円 -	百万円 -	% -	百万円 316	百万円 46	% 14.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2018年6月14日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

外国株式

銘柄	期首(前期末)	
	株	数
(メキシコ)		百株
ALFA S. A. B. -A		146
GRUPO CARSO SAB DE CV-SER A1		19
AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L	1,005	
KIMBERLY-CLARK DE MEXICO-A		59
WALMART DE MEXICO SAB DE CV		215
CEMEX SAB-CPO		597
GRUPO TELEvisa SAB-SER CPO		100
GRUPO BIMBO SAB- SERIES A		48
GRUPO FINANCIERO BANORTE-O		102
FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD		89
INDUSTRIAS PENOLES SAB DE CV		4
MEXICHEM SAB DE CV-*		43
COCA-COLA FEMSA SAB-SER L		22
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B		144
GRUPO FINANCIERO INBURSA-O		68
GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B		17
GRUPO ELEKTRA SAB DE CV		2
ARCA CONTINENTAL SAB DE CV		18
GENEREA SAB DE CV		40
EL PUERTO DE LIVERPOOL-C1		8
GRUPO FIN SANTANDER-B		75

銘柄	期首(前期末)	
	株	数
(メキシコ)		百株
ALPEK SA DE CV		17
GRUPO AEROPORT DEL SURESTE-B		8
OHL MEXICO SAB DE CV		32
GENOMMA LAB INTERNACIONAL-B		28
PROMOTORA Y OPERADORA DE INF		7
GRUMA S. A. B. -B		8
GRUPO LALA SAB DE CV		25
ALSEA SAB DE CV		21
BOLSA MEXICANA DE VALORES SA		17
BANREGIO GRUPO FINANCIERO SA		4
INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N		13
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT		12
NEMAK SAB DE CV		25
CONTROLADORA VUELA CIA DE-A		36
合計	株	数
	銘柄	数
		3,077
		35

○投資信託財産の構成

(2018年6月14日現在)

項目	償還時	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 246,050	% 100.0
投資信託財産総額	246,050	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2018年6月14日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	246,050,067
コール・ローン等	246,050,067
(B) 負債	6,305,756
未払解約金	4,882,918
未払信託報酬	1,407,590
未払利息	487
その他未払費用	14,761
(C) 純資産総額(A-B)	239,744,311
元本	272,069,011
償還差損金	△ 32,324,700
(D) 受益権総口数	272,069,011口
1万口当たり償還価額(C/D)	8,811円89銭

<注記事項>

- ①設定年月日 2013年8月29日
 設定元本額 14,003,263,082円
 期首元本額 351,685,208円
 元本残存率 1.9%

また、1口当たり純資産額は、期末0.881189円です。

- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は32,324,700円です。

○損益の状況 (2017年6月15日～2018年6月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	11,449,063
受取配当金	1,219,773
受取利息	10,035,599
その他収益金	199,673
支払利息	△ 5,982
(B) 有価証券売買損益	△31,143,587
売買益	19,500,122
売買損	△50,643,709
(C) 信託報酬等	△ 4,986,326
(D) 当期損益金(A+B+C)	△24,680,850
(E) 前期繰越損益金	△ 9,790,888
(F) 解約差損益金	2,147,038
償還差損金(D+E+F)	△32,324,700

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年8月29日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2018年6月14日		資産総額	246,050,067円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	6,305,756円
				純資産総額	239,744,311円
受益権口数	14,003,263,082口	272,069,011口	△13,731,194,071口	受益権口数	272,069,011口
元本額	14,003,263,082円	272,069,011円	△13,731,194,071円	1万口当たり償還金	8,811円89銭
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第1期	1,628,411,561円	1,856,867,041円	11,403円	0円	0%
第2期	657,584,672	790,840,356	12,026	0	0
第3期	458,566,109	398,857,961	8,698	0	0
第4期	351,685,208	341,894,320	9,722	0	0
信託期間中1万口当たり総収益金及び年平均収益率				△1,188円11銭	-%

○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	8,811円89銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

[お 知 ら せ]

- ①連動の対象としている指数の名称が従来のボルサ指数からS&P/BMV IPCメキシコ指数に変更されたため、信託約款に所要の変更を行いました。
(2017年8月10日)
- ②当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)
(2018年1月1日)
- ③2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。